

月の舟通信

2015年3月 No.41

四一、元気、売ります。

梅の花がほころび始めています。春の到来ですね。古来、日本では春秋優劣論が盛んで、春と秋のどちらが素晴らしいかを競い合っていました。「源氏物語」でも、春を紫の上に、秋を秋好中宮になぞらえ、春秋を競わせています。

「文学サロン 月の舟」も、本格的な春を迎えます。総会も正会員の皆様のご協力により、予算が承認され、新理事も決まりました。月の舟ゴールドカードは寄付の意味合いがあり、Gカード会員の増加が、月の舟の活性化につながる事が確認されました。

新・月の舟ゴールドカード会員さん先頭に、活発な学びが展開され、好きだけ学べる幸福が「月の舟」に溢れています。このGカード企画は大正解であることが立証され、さらに百花繚乱、刺激的な講座がいつぱいの月の舟になっていくでしょう。

きみことワインを 2015

わたし自身、勉強することが大好きです。非常勤を含め、十一クラスの文学講座を持っているので授業準備が大変ですが、それが生きるエネルギーです。読書することで、ぶれない自分を創っているという自覚があります。

先日も「信頼は最高の知性である」という言葉に出会い、勇気もらいました。たしかに知性溢れる方はこちらを信頼してください。コントロールすることなく接してください。そして、何よりも自分自身を信頼することが、最高の知性でしょう。

この言葉にならって、わたしも言葉を紡いでみました。「上機嫌でいることは最高の知性である」「自分を深く優しく見つめることは最高の知性である」「挑戦は最高の知性である」。

こうした力強い言葉に出会うたび、言葉に元気をもらい、元気な

言葉を世の中に還元しつつ、人は強くなっていくようです。

三月八日は、恒例の佐々木幹郎先生の講演会「地霊と言霊」。今年は万葉集についてお話してください。唱歌・童謡クラスの齊藤玲子先生のご子息・齊藤州重さん（実は、佐々木先生の教え子さん）が歌で華を添えてくださいます。

三月十五日は、草枕文学散歩。漱石の小説「草枕」の舞台である熊本県小天温泉を訪ねます。普段は入れない鏡が池を特別に探訪できますよ。究極の文学散歩になるはず。ぜひご参加を！

三月二十二日は、山桜満開の霧島三嶽邸にて、お茶会とミニ散歩を開催します。

楽しいことが花開く春。新しい講座も続々誕生。参加型のクラスもいつぱい。信頼と笑いと挑戦を合言葉に「月の舟」では、「元気、売ります。」いつぱい元気を買って、元気を世間に還元してくださいませように。（みたけきみこ）